

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学病院 薬剤部では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の許可のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように個人のプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究にカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。不参加のお申し出があった場合も、患者さんに診療上の不利益が生じることはありません。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究名称]

オピオイド鎮痛剤未使用がん疼痛患者におけるフェントス®テープと経口オキシコドン徐放製剤の疼痛薬物療法の比較検討

[研究の目的]

フェントス®テープの鎮痛効果や安全性を明らかにし、どのような方に使用するとさらに最適な疼痛治療ができるようになるのかを明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

対象となる方

2021年2月1日～2022年1月31日に、当院でフェントス®テープまたはオキシコドン徐放製剤が処方されたオピオイド鎮痛薬を使用したことがないがんの患者さま

研究期間

研究許可日 ～ 2023年3月31日

利用するカルテ情報と情報の管理

年齢、性別、体重、病歴、診療録、看護記録、処方歴、副作用等の発生状況、等これらのカルテ情報を用いて解析を行います。これらの情報を、患者様を直接特定できる個人情報とは削除・匿名化したうえで、下記研究代表機関へ提供を行います。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

[研究組織]

この研究は、医療法人鉄蕉会 亀田総合病院が研究代表機関となり行う多施設共同研究になります。東京医科大学病院は研究分担施設となります。

研究責任者

プロトコル作成、データ収集・分析、原稿の起草

医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 薬剤部 川名 真理子

研究分担者

研究指導、データ解析

東京薬科大学 薬学部 准教授 国分 秀也

プロトコル作成、論文作成

湘南東部総合病院 薬剤科 尾関 あゆみ

プロトコル作成、データ収集

静岡県立総合病院 薬剤部 中村 和代

日本医科大学多摩永山病院 薬剤部 近藤 匡慶

データ解析

北陸大学 薬学部 准教授 岡本 晃典

データ収集・分析

栃木県済生会宇都宮病院 薬剤部 大野 凜太郎

国家公務員共済組合連合会立川病院 薬剤科 桐林 美緒

八尾市立病院 薬剤部 長谷 圭悟

国立病院機構仙台医療センター 薬剤部 鈴木 訓史

県立広島病院 薬剤科 藤本 英哲

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 船渡 三結

焼津市立総合病院 薬剤科 小野田 千晴

小樽市立病院 薬剤部 日下部 鮎子

[問い合わせ先]

東京医科大学病院 薬剤部

宮里 明芽

03-3342-6111(内線 63609)